

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

人格教育に必要なのが東洋思想 野田 智美 (至善館理事長)

1. 欧米のMBA教育の現場で組織戦略論を考えつつも、こういう表層的な教育で本当によい社会が作られるのかと、強い疑問や反発心を抱いていました。1990年代の終わりのITバブルの時期で、向こうは株主価値至上主義に染まっていた。誰もが株を公開して手っ取り早く儲けることにしか関心を示さない。そういう中で、いかにして利益を追求するかというHOWばかりに終始する教育にどんな意味があるのだろうか。
2. それよりも、何のために企業活動を行うのかを問う教育が必要ではないか。そこでMBAとは異なる全人格リーダーシップ教育をしたいと考えたわけです。全人格というのは簡単に言えば、立場、立場で自分を使い分けられないことだと思います。従来のプロフェッショナル教育に欠けていると思うのは、プロであると同時に家庭の一員であり、社会の一員であり、世界の一員であり、自然の一員でもあるという視点です。
3. そういう視点がなく、立場、立場で人格を使い分けて行動する人があふれかえったら社会は混乱してしまいます。ですから、どんな立場に立っても貫いていく軸のようなものを育てていくこと。そういう人格教育が必要だと私は考えますが、その際に重要になってくるのが東洋思想です。

(参考:「致知」2017年10月号)

新規成長分野

増える「走るコンビニ」

1. セブンイレブンなどコンビニエンスストア各社が、移動販売事業に本気で取り組み始めた。セブンイレブンが移動販売業を始めたのは2011年だ。7月末の配置台数は地方都市周辺を中心に1都24県の43台。今後は事業拡大を進める考えで、2018年度には46都道府県105台まで引き上げる。FC(フランチャイズチェーン)加盟店を後押しするため、冷蔵・冷凍庫を含めて数百万円する専用車両はセブンイレブン本部が用意し貸し出す。
2. 移動販売を強化するのは、地方を中心に過疎化が進み、従来の事業モデルが通用しなくなる恐れがあるからだ。経産省によると、過疎化などによって近隣に小売店がなく、交通手段も限られる買い物弱者は全国で約700万人に上る。

(参考:「日経ビジネス」:2017年8月28日号)

人事・労務について

労務改革室を設置(シダックス)

1. シダックスにとって人手不足と時間外労働は、大きな経営課題だった。たとえば、レストラン・カラオケ店の従業員は、学生など若い年齢のアルバイトが多いが、少子化の影響もありなかなか人が集まらない。一方、病院給食などは、朝食を調理するために早朝に出勤しなければならないことが多く、こちらも人材確保が課題だった。
2. シダックスグループは、レストラン・カラオケ、給食事業、車両運行、図書館や公共施設の運営・事務サービスなどで、アルバイトスタッフなども含めて約4万人の従業員が働いている。人材という経営資産こそが極めて重要で、2014年に労務改革室の立ち上げた。労務改革に特化して課題解決に取り組む専門部署で、離職率の低減に成功した。(参考:「週刊東洋経済」2017年8月12日・19日号)

古典に学ぶ

二百余年の大偉業

(解説) また「己を責めて人を責めるな」「及ばざるは過ぎたるより勝れり」というのは、孔子が教えられたのと一致している。「不自由を常と思えば不足なし、心に望み起らば困窮したる時を思い出すべし」、「勝つこと計りを知りて、負くることも知らざれば害その身に至る」とある。家康公が処世に巧みであったこと、二百余年の大偉業を開かれたことは、大抵論語から来ているのである。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)